

あおもり漁連

故 植村正治氏 書

甦れ!! 協同組合運動

No.
163



平成28年度 本会通常総会

CONTENTS

平成28年度 青森県漁連通常総会開催	1
平成28年度 組合長会議開催	3
補助事業説明会及び要請活動	4
神経締め講習会開催	5
販売担当者会議開催	6
海難防止技術競技会日本海・陸奥湾大会	7
漁業者育成事業(潜水士資格取得講習会)	9
「ホタテの目」記念イベント	10
水産に関する主な動き(1月~7月)	11

2016.8

資源・金融・共済の三本柱推進

平成二十八年年度
(第六十七事業年度)

青森県漁連通常総会開催

去る、六月二十日、青森県水産ビル七階大会議室において、青森県漁連平成二十八年年度(第六十七事業年度)通常総会を開催し、平成二十七年年度決算、平成二十八年年度事業計画に関する件など六議案が審議され、原案通り承認決定された。



赤石会長挨拶

開催にあたり、赤石会長が次の通り挨拶を述べた。
四月十四日から立て続けに発生した「熊本地震」では、農林水産関係で一、三〇〇億円を超える被害となり、水産関係では土砂流入によるアサリの大量へい死やノリ加工施設の損壊等、甚大な被害を受けました。このことを受け、全漁連では「熊本地震支援募金口」を開設し、各県域の漁連をはじめとする関係団体及び中央団体等に支援を呼びかけたところでございます。その結果、第一次として三、〇〇〇万円を超える支援金が集まり、現地の熊本漁連に贈呈されました。

なお、第二次につきましては、現在経対本部が本県の窓口となり、各漁協並びに組合員の皆さんに支援金のご協力をお願いしているところであります。

また、本県では昨年十一月五日に発生した八戸市の蕪嶋神社火災による被害につきましては、非常に残念なことであり、関係者の皆様にご心よりお見舞い申し上げるところであります。蕪嶋神社は今年で創建七二〇年を迎え、先の東日本大震災でも倒れず、復興のシンボルでもあったことから、一日も早い再建をお祈り申し上げます。

本会の受付窓口には「熊本地震JFグループ支援募金」並びに「八戸市蕪嶋神社再建支援金」の募金箱を設置しておりますので、会員の皆様のご理解を頂き、支援募金へのご協力をお願い申し上げます。

さて、我が国の水産業は、依然として厳しい状況

にありますが、TPP関連事業として「水産業競争力強化緊急事業」が新たに創設され、本会と致しましても積極的に事業推進に取り組んでいるところでもあります。しかしながら、需要に対応できるだけの予算措置がなされておらず、今後の大型予算確保を含め、事業の大幅な拡充を国に対し、強く求めていかなければなりません。

つきましては、本日の通常総会終了後に緊急の組合長会議を開催し、事業の大幅拡充等を求める特別決議を採択頂き、本県JFの総意として国に働きかけて参る所存でございますので、ご理解・ご協力のほど、お願い申し上げます。

さて、本県の漁業につきましては、太平洋クロマグロの資源管理問題やスルメイカをはじめとする本県主要魚種の漁獲不振と魚価の低迷等、厳しい状況にありました。また、ほたて部門においては、近年の高水温被害を乗り越え、高値で推移もしたことから、取扱高が一七〇億円を超えて本会取扱高では歴代最高の実績となりました。

本会全体での総取扱高では、計画を六二億円上回る三九〇億円の実績となり、当期剰余金では四、〇〇〇万円を計上することが出来ました。

なお、会員各位に対しましては、業務部門における奨励金及び施設助成金等で約五、三七〇万円を支払い致しております。

このことは、各事業において効率的・合理的な運



西山里一議長



三村申吾青森県知事祝辞



会員組合長

営を心がけ、鋭意努力して参りましたこともさることながら、会員皆様方のご支援・ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

終わりに、新年度においても厳しい経営を強いられるものと思われませんが、本県漁業・水産業の安定と発展に寄与すべく業務に邁進して参りますので、特段のご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本総会に上程の全議案について、慎重なるご審議を頂き、ご承認賜りますようお願い申し上げますとともに、平成二十八年度の浜の好漁と、海上安全、そして救命胴衣一〇〇%の着用、併せて本日も参会の皆様のご健勝、ご活躍を御祈念申し上げます、私からの挨拶と致します。

続いて、来賓を代表して、三村申吾青森県知事より祝辞があり、その後、西山里一白糠漁協組合長を議長に選出し議事に入った。

議事では、第一号議案の平成二十七年事業報告、貸借対照表、損益計算書、注記表及び剰余金処分案に関する件を始めとする六議案について審議が行なわれ、いずれも原案通り承認決定された。

〔平成28年度事業計画〕

基本方針

内閣府が発表した平成28年度の我が国経済の見通しによると、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」などの推進等により、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が更に進展するとともに、交易条件が緩やかに改善する中で、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれるとされております。

このような見通しの中、本県漁業を取り巻く環境は未だ厳しく、漁獲・魚価・消費の低迷、後継者不足、漁業用資材の高騰など、厳しい経営環境が続くものと思われまます。

この状況を打開するため、国が創設した TPP 関連対策である水産業競争力強化対策事業について、「漁船リース緊急事業」「機器等導入緊急対策事業」「効率的な操業体制の確立支援事業」等、浜の活力再生に向けた事業の有効活用を図るため、広域浜プランの策定指導等に早急に取り組んで参ります。また、各浜が策定した「浜の活力再生プラン」の実践に向けた取り組みに協力し、広域な漁村地域における浜の機能再生や中核的担い手漁業者の育成等を通じて水産業の競争力強化や構造改革を推進して参ります。

本県漁協においては、小規模漁協が多く、依然として経営が極めて厳しい状況にあり、経営の健全化と機能強化に重点をおいた組織再編への取り組みが急務となっております。このため、各4地区の協議会を開催し、漁協再編及び基盤強化に努め漁協合併に向けた取り組みを一層加速させて参ります。

また、近年組織的で巧妙となった密漁に対して、県・警察・海上保安部との連携による、官民一体となった密漁監視・連絡体制を早急に確立し、密漁防止と漁業秩序の維持及び資源保護に努めます。

そのほか、関係機関と連携し、本県産魚介類の消費拡大やブランド化を目指した取り組みを展開し、産地価格の向上を図って参ります。

以上を基本方針とし、本年は下記事項を重点的に推進して参ります。

記

<重点推進事項>

1. 水産資源の管理・確立を図るための諸対策
2. 漁協の経営基盤の強化並びに漁業金融の推進
3. 漁家・漁協経営の安定・向上と漁業共済加入促進
4. 水産物の価格向上及び付加価値向上
5. 漁業用石油類及び資材類の安定供給
6. 各種漁業の生産基盤強化及び増養殖事業の推進
7. 水産物及び水産製品の消費拡大
8. 水産物の衛生管理
9. 漁業環境保全
10. その他漁業者及び漁協の経営に資する事項並びに漁業振興に資する事項

組合長会議開催 特別決議(案)採択

わが国水産業における構造改革の推進につきましては、浜プラン・広域浜プランのもと、「水産業競争力強化緊急事業(漁船リース事業、機器等導入事業等)」の活用をはじめ取組が全国的に進められているところではありますが、これら構造改革の取組を成し遂げていくためには、今後、大型予算の確保を含め、事業の大幅拡充が不可欠であります。しかしながら、消費税増税の先送りが表明されるなど、大型予算の獲得にとって厳しい展開が予想されることから、JFグループが一丸となって、更なる強力な運動展開が必要となります。よって、本県においても強力な運動を展開すべく通常総会終了後、組合長会議を開催し、「わが国水産業の構造改革推進にかかる政策の大幅拡充を求める特別決議(案)」を提案し、満場の拍手をもって採択されました。

わが国水産業の構造改革推進にかかる政策の 大幅拡充を求める特別決議(案)

我々漁業者は、地域が連携して水産業の競争力強化を図るため、JFグループの総力を挙げて、「浜の活力再生広域プラン」等の実践に取り組んでいる。

この実践により、浜の構造改革を成し遂げ、将来にわたる水産食料の安定供給体制を確立していかなければならない。

しかしながら、構造改革の取り組みは、一朝一夕で成し遂げられるものではなく、その実現のためには、漁業者の血のにじむような努力と、国の強力な支援が不可欠である。

については、27年度補正予算において基金化により措置された「水産業競争力強化緊急事業」の大型予算の確保を含め、事業の大幅拡充が図られるよう、JFグループの総意として国に強く求める。

以上、決議する。

平成28年6月20日(月)

青森県漁業協同組合連合会 組合長会議

「漁船リース事業並びに広域浜プラン策定に係る説明会開催」 及び「政策の大幅拡充に対する要請活動実施」

漁船リース事業並びに広域浜プラン策定にかかる説明会開催

去る5月12日、青森県水産ビルにおいて、青森県・青森県漁連・青森県漁業経営安定対策本部主催の「水産業競争力強化漁船導入支援事業並びに広域浜プラン策定に係る説明会」が開催され、漁協組合長及び筆頭職員、県及び市町村、水産関係団体担当者、約130名が出席しました。

冒頭、水産庁 内海課長補佐が、「浜の活力再生プラン」策定による所得・経営力の向上に続き、本日の事業説明会では、広域漁村地域の連携による地域全体の活性化に向けた「浜の活力再生広域プラン」並びに、競争力強化により所得向上を目指す「漁船リース事業」について説明がありますので、しっかり有効活用していただきたいと挨拶を述べました。

事業説明では、水産庁 内海課長補佐 並びに、全漁連浜再生推進部 高浜部長が

- (1) 水産業競争力強化漁船導入支援事業について
- (2) 広域浜プラン策定について

について説明されました。

政策の大幅拡充に対する要請活動実施

昨年度、大筋合意したTPP対策として、昨年度の補正予算により「水産業競争力強化緊急事業」が措置され、浜の担い手リース緊急事業・競争力強化機器導入緊急対策事業等が実現した。

これら事業に対する浜の期待は大きく、事業活用による競争力強化・浜の活性化・構造改革に対する漁業者の意欲が高まっており、当該事業への応募が殺到した事から、各県域において予算が足りない状況になっている。

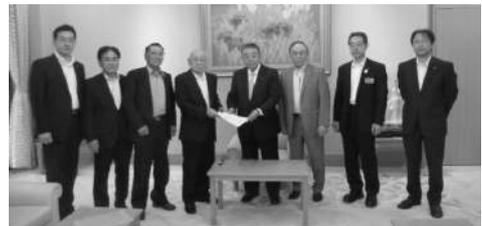
去る、6月20日開催された、県漁連組合長会議並びに青森県漁業経営安定対策本部通常総会において、事業予算の大幅拡充にかかる要請について特別決議がなされ、下記の日程で要請活動を実施しました。

〈実施日・要請先〉

- | | | |
|-------|---------|--------|
| 6月23日 | 茂木 敏充 | 衆議院議員 |
| 6月29日 | 三村 申吾 | 県知事 |
| 7月4日 | 森山 裕 | 農林水産大臣 |
| 7月5日 | 佐藤 一雄 | 水産庁長官 |
| 〃 | 長谷 成人 | 水産庁次官 |
| 〃 | 県選出国會議員 | |



茂木衆議院議員へ要請



大島衆議院議長へ要請

神経締め講習会開催

5月11日、深浦町北金ヶ沢会館で、北日本神経メ師会の塩谷会長を講師としてお招きし、神経締め講習会を開催した。講習には深浦から三厩までの漁協職員や組合員ら約70名が参加し、神経締めの基本技術や高値が付く理由などを学んだ。

神経締めは鮮魚の頸椎を手早く切断し放血させ、頭部の眉間中央へTスパイクを差し込んだ後、ワイヤーを挿入することで脳と脊髄を破壊し、食味を損なう要因であるストレスを大幅に減らして魚の鮮度を長く保たせる技法で、こうして処理した魚を熟成によりうま味を最大限に引き出すことで、鮮魚の付加価値を高める。

関東や関西などの大消費地から遠く輸送のハンディを負う本県にとって、神経締めが有望な手法であるなど、基礎的なことを漁協職員や組合員らに理解してもらうため、プロジェクター等を使用しながら、塩谷会長と桶田副会長が詳しく講演した。

塩谷会長は、出荷時の鮮度や見栄えも大事だが、それに加え消費者の所に着いた時に鮮度が良く、「おいしい」と喜んでもらえる魚がいい魚と説明。魚が暴れたり苦しんだりして、うま味成分イノシン酸の基となる ATP（アデノシン三リン酸）が急減するのを防ぐのが神経締めを行う意義であることや、正しい神経締めの基本手順などを資料に基づき説明した。

参加者からは、「神経締めを行った魚は何日持つのか」・「今後実技の講演予定はあるのか」などの、多くの質問や要望が上がり、関心の高さをうかがわせた講習会であった。



講演する塩谷会長(北日本神経メ師会)



参加した深浦～三厩の漁協職員・組合員

平成二十八年年度 販売担当者会議 開催

六月十五日、ホテルグランメール山海荘にて【西北地区販売担当者会議】、七月四日、プラザホテルむつにて【下北地区販売担当者会議】が開催された。

主催者を代表して小出専務が挨拶し、マグロ漁獲制限の事項や、漁獲数量の減少等に伴い漁協経営が厳しい現状であることに触れ、本会としても経対協と共に漁協の再編や、国の漁船リース事業を進めていき、漁協の為になるよう努力を続けて行きたいと述べた。

一昨年から開催されている共販推進会議では、魚価の低迷や漁獲量減少などの様々な課題について議論を重ねているが、本会議では鮮魚の規格統一と市場休日についての二案件に絞り議論された。

会議では、一昨年から業者の要望である鮮魚規格の統一をする為、漁連の規格を基に各漁協で設けている規格を市場の現状等に合わせ改定して行くために、漁協の販売担当者から意見を聞き取りし、どのように統一を進めて行くべきかなど、県漁連・組合で活発な議論が交わされた。又、卸売市場の休みに伴い、現場の休日についても意見交換した。

今後開催される買受業者を交えた共販推進会議にて、販売担当者会議での結果を報告・議論し、市場業務へ繁栄させて行く。下北地区は八月末、西北地区は九月にそれぞれ開催予定である。

【西北地区販売担当者会議】

平成二十八年六月十五日(水)

午後三時

ホテルグランメール山海荘「風の間」

【下北地区販売担当者会議】

平成二十八年七月四日(月)

午後三時

プラザホテルむつ「スカイプラザ」



挨拶する小出専務(西北地区)



県漁連並びに各組合職員(西北地区)



県漁連並びに組合職員(下北地区)



県漁連並びに組合職員(下北地区)

平成28年度 海難防止技術競技会日本海・陸奥湾大会

平成28年7月30日(土)青森市久栗坂漁港において、平成28年度『海難防止技術競技会日本海・陸奥湾大会』が開催され、県内5箇所の救難所員と漁協関係者、約300名が参加のもと、人命救助に係る海難技術競技及び水難訓練を実施した。

～主催挨拶～

最初に主催者を代表し、赤石憲二会長(JF 青森漁連会長)が『本会では、海難事故の防止と人命救助を大きな柱として、これまで数々の啓発運動を関係機関と連携しながら展開してきたが、依然として海難事故は後を絶ちません。

救命胴衣着用は、自らの命を守るだけではなく大切な家族や仲間のためであり、また人命はこの世で最も尊いものであることから、海難事故現場に真っ先に駆けつける救難所員の大切さは言うまでもありません。その現場では救難所員の的確な判断と迅速な行動が不可欠となります。そのため、救難活動の技術向上と救難所員の救難意識を高めるため、日本海・陸奥湾大会を開催し、海難事故撲滅に努めたい』と挨拶をした。

次に、来賓として吉田青森県水産局長、前川青森海上保安部長、鹿内青森市長が祝辞を述べた。

～海難防止安全宣言～

[平内町漁業研究連合会 会長 船橋 智]

常日頃より自分の命は自分で守るという強い意志をもち行動する必要がある。我々は本日の大会を機に更なる安全操業の徹底と救命胴衣の常時着用を心がけ、海難事故ゼロを目指し努力する、と宣言した。

[新深浦町漁協大戸瀬漁協女性部 部長 伊藤 満由美]

浜の女性として、妻として、母親として子々孫々の為に恵みの海を守り、安全操業に努め、漁業の火を絶やすことがないよう、救命胴衣の常時着用と着用率100%を目指し、強く呼び掛ける、と宣言した。

～海難技術競技会～

救難所の技術向上を目指す為の海難技術競技会に、日本海地区から新深浦町救難所、陸奥湾地区から竜飛救難所・三厩救難所・平内救難所・横浜救難所、総勢150名が整列競技・心肺蘇生法競技・火災船消火競技・ゴムボート操法競技の4競技について技術を競い合った。

①救難所員整列競技

各救難所から所長以下5名が参加し、救難所員としての基本動作が機敏で正確に行われているかを競い合う競技。

②心肺蘇生法競技

各救難所から3名が参加し、基本動作に加え心肺蘇生の手順・胸部圧迫・呼吸法が正確に行われているかを競い合う競技。

③火災船消火競技

各救難所から所長以下5名が参加し、基本動作に加え消火作業が正確に行われているかを競い合う競技。

④ゴムボート操法競技

各救難所から5名が参加し、所員の統制とタイムの速さを競い合う競技。



整列競技風景



心肺蘇生法競技風景





消火競技風景



ボート操法競技風景

～防災機関海難救助訓練～

①落水者救助訓練

訓練では、青森市漁協久栗坂支所所属船が航行中に、乗組員が体調不良により突然意識を失い海中転落し行方不明となっているという想定で行った。訓練は、青森市救難所、青森消防本部、青森海上保安部が合同で行い、対策本部からの指示に従い青森消防本部水難救助隊が落水者の捜索・救助訓練を行った。



落水者救助訓練



②傷病者救助訓練

訓練は、青森市漁協久栗坂支所沖合にて、1名乗りの手漕ぎゴムボートから何等かの理由により海中転落した。転落者は救命胴衣を着用しているものの、意識が無いかモウロウとしているという想定で行った。訓練は、青森海上保安部、青森消防本部、青森県防災航空隊が合同で行い、青森消防本部より要請を受けた県防災ヘリコプター「しらかみ」が海面を漂流している要救助者を発見・救助し、心肺停止状態であったため心肺蘇生等の措置を実施するとともに、医療機関へ搬送を行った。



傷病者救助訓練

～決意表明～

本大会を通して救難所を代表し、小泊救難所 成田氏が「我々海と生活を共にする救難所員は海難事故の無い平和な海を祈り、日々の訓練により救難技術向上に努めている。

しかし、一瞬の気の緩みや過信により海難事故は発生する。取り返しのつかない悲劇を防ぐためにも、操業時には最善の注意を払い、常日頃から事故未然防止に対する心掛けと救命胴衣の着用を徹底し、自分の身は自分で守ることが必要。

本大会の目的である救難所の活性化と海難事故に対する意識を高め、犠牲者を出さないよう、この運動を継続し海難事故撲滅に努める」と決意表明した。

～講評～

最後に、八戸海上保安部 高橋警備救難課長が本日の海難技術競技及び合同訓練について、「本日の大会は、日頃の海難技術訓練の成果が遺憾なく発揮され、非常に統制がとれていた。

今後、尊い人命と貴重な財産を失わないためにも、今まで以上に海難防止に対する意識の高揚と啓発が必要である。また、このような運動は継続することが海難事故撲滅に繋がるものである。」と講評を述べた。



小泊救難所 成田氏



講評する八戸海保 高橋警備救難課長

技術競技結果

- 総合1位 新深浦町救難所
- 総合2位 横浜救難所
- 総合3位 竜飛救難所



第1位の新深浦町救難所

青森県漁協青年部連絡協議会

「平成二十八年度漁業者育成事業」

去る七月二十二日（金）、青森県総合運動公園内 深水プールにおいて、青森県漁協青年部連絡協議会主催による「国家潜水士資格免許取得に係る講習会」が、協会員他十九名の参加により開催された。

現在、本県沿岸の藻場は環境の変化等により減少の一途を辿り、本来の役割を果たす事が困難な状況に陥っている事から、若手漁業者育成の一環として、公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団の事業を活用し、漁業者自らが前浜の整備を行うことで、藻場造成による資源の回復と、自営事業参画による漁協経営の安定を図ることを目的として行われた。

開講式では県漁連熊木参事が主催者代表として、「近年の漁業を取巻く状況は大変厳しく、また県内各漁協も非常に厳しい状況下にある。潜水士資格免許の取得によって、漁協の自営事業への参画、次代を担う若手漁業者の育成という明確な目標を持ち、三日間取組んで欲しい。」と挨拶を述べた後、（株）マツクの今代表取締役が講師となり、プールでの訓練が行われた。

講習は二十四日（日）までの三日間行われ、初

日はスーツの着用方法や耳抜き等基本的な訓練、二十三日（土）は器材を装備しての実践的訓練が行われ、最終日は平内町稲生地区海岸に移動し、実際の海洋での潜水、浮上等の海洋実地訓練も行われた。



実技講習を終えた受講者と講師



深水プールにて講習を受ける受講者



平内町海岸における海洋実地訓練



主催者代表として挨拶をする熊木参事

平成二十八年度

「ホタテの日」記念イベント開催

青森ホタテのPRと消費拡大のため、青森県漁連とむつ湾漁業振興会は、平成十年度に六月十八日を「ホタテの日」と制定し、これを記念して、平成十一年度から毎年記念行事を行っています。

今年も、青森県はたて流通振興協会、はたて広場運営協議会との共催により、六月十九日(日)に平内町の「はたて広場」を会場に開催しました。

開会式では、三津谷むつ湾漁業振興会長が「ホタテの日」は、平成十年に制定、翌十一年に最初の記念行事を行ってから、今年で十八年になりました。陸奥湾のホタテ漁業は、平成二十二年の夏の異常高水温により、過去最大の被害を受け、それから五年かかって昨年ようやく復活することが出来、本年は昨年以上に順調に推移している。本日はその復活のお



三津谷むつ振会長挨拶



ベビーホタテ無料配布



ステージショー



はたて貝焼き試食

祝いと、日頃から陸奥湾産ホタテをご愛用いただいていることへの感謝の気持ちを込め、ご来場の皆様にボイルホタテの無料配布やホタテ貝焼き試食、ホタテ製品の格安販売をいたしますので宜しくお願いたします。」と挨拶を述べ、船橋平内町長並びに吉田県水産局長(対馬水産振興課長代読) 祝辞に続き、秋田県湯沢市の小町娘が和歌を披露した。

続いて、ステージ横のテントにおいて、来場者先着五〇〇名にベビーホタテと、記念のウチワが無料で配られた。

ステージでは、スコップ三味線、ゆるキャラとゲーム大会、りんご娘によるショーなどが行われた他、イベントは大いに賑わっていた。

また、はたて広場と交流のある秋田県湯沢市の道の駅雄勝「小町の郷」から、支配人外が来青し、名産の「さくらんぼ」「稲庭うどん」等の販売も行い、多数の来場者が購入されていた。

また、広場正面横では、はたて貝焼の無料試食コーナーが大人気で、はたて広場入口より道路側まで長蛇の列が出来、終始列が途切れることがなく、用意された一〇〇〇名分以上のはたて貝の全てを提供して終了した。

水産に関する主な動き(1月～7月)

1月	事 項	場 所
6日(水)	仕事始め	青 森 市
15日(木)	セーフティネット事業説明会	東 京 都
26日(火)	全国漁連(県漁協)・信漁連専務参事会議	東 京 都
27日(水)	青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会	青 森 市
28日(木)	全国漁連(県漁協)・信漁連会長・漁済組合長合同会議	東 京 都

2月	事 項	場 所
5日(金)	東日本産地魚市場協会 通常総会	青 森 市
9日(火)～10日(水)	本会監事会、監査会	青 森 市
16日(火)	漁協組織再編に関する地区別協議会(むつ湾地区)	青 森 市
19日(金)	青森県定置漁業協会 通常総会	青 森 市
22日(月)	漁協組織再編に関する地区別協議会(西北地区)	青 森 市
23日(火)	漁協組織再編に関する地区別協議会(下北地区)	む つ 市
24日(水)	漁協組織再編に関する地区別協議会(三八地区)	八 戸 市

3月	事 項	場 所
1日(火)	全国青年・女性漁業者交流大会	東 京 都
3日(木)	TPP 関連・平成27年度補正予算に関する説明会	青 森 市
4日(金)	青森県漁協青年部連絡協議会 通常総会	青 森 市
4日(金)	ほたて販売担当者会議	青 森 市
8日(火)	ホタテガイ販売懇談会	青 森 市
9日(水)	全国漁連(県漁協)・信漁連会長会議	東 京 都
14日(月)	JF グループ購買全体会議	東 京 都
25日(金)	全国漁業協同組合連合会 臨時総会	東 京 都
29日(火)	本会理事会	青 森 市

4月	事 項	場 所
8日(金)	青森県漁協専務参事会 通常総会	青 森 市
8日(金)	青森海藻干魚会 通常総会	青 森 市
15日(金)	有害生物漁業被害防止検討委員会	東 京 都
20日(水)	水産業競争力強化・漁船導入緊急支援事業説明会	東 京 都
22日(金)	青森県昆布協会 通常総会	函 館 市
27日(水)	本会理事会	青 森 市
27日(水)～28日(木)	本会監事会、監査会	青 森 市

5月	事 項	場 所
10日(火)	(一社)青森県ほたて漁業振興基金 通常総会	青 森 市
10日(火)	漁連(県漁協)・信漁連会長ブロック会議	東 京 都
12日(木)	水産業競争力強化・漁船導入緊急支援事業(漁船リース事業)説明会	青 森 市
17日(火)	太平洋クロマグロ資源管理に係る今後の進め方に関する説明会	青 森 市
18日(水)	青森県東部海域漁業協議会 通常総会	青 森 市
18日(水)	青森県小型いか釣漁業協議会 通常総会	青 森 市
20日(金)	本会理事会・監事会	青 森 市
20日(金)	本会業務部担当理事会	青 森 市
25日(水)	青森県漁協組合長会議	青 森 市
26日(木)	青森県漁船保険組合 通常総代会	青 森 市
27日(金)	(一社)青森県漁港漁場協会 定時総会	青 森 市
27日(金)	(一社)青森県水産振興会 通常総会	青 森 市
27日(金)	青森県漁船海難防止・水難救済会 通常総会	青 森 市
31日(火)	青森県漁場監視団連合会 通常総会	青 森 市

6月	事 項	場 所
1日(水)	青森県ほたて流通振興協会 通常総会	青 森 市
7日(火)	(公社)青森県栽培漁業振興協会 定時社員総会	青 森 市
9日(木)	青森県漁業環境保全協会 通常総会	青 森 市
9日(木)	青森県魚市場協会 通常総会	青 森 市
10日(金)	太平洋クロマグロの資源管理に関する青森県全体会議	青 森 市
17日(金)	青森県信用漁業協同組合連合会 通常総会	青 森 市
17日(金)	青森県漁業共済組合 通常総会	青 森 市
20日(月)	本会通常総会・理事会・監事会	青 森 市
20日(月)	青森県漁業経営安定対策本部 通常総会	青 森 市
21日(火)	全国漁青連 通常総会	東 京 都
21日(火)	青森県J F 共済推進本部 定例総会	青 森 市
21日(火)	青森県漁業信用基金協会 通常総会	青 森 市
23日(木)	全国漁業協同組合連合会 通常総会	東 京 都
23日(木)	むつ湾漁業青色申告会連合会 通常総会・創立40周年式典	青 森 市
29日(水)	青森県新漁業協同組合運動協議会 協議会	青 森 市
29日(水)	(公社)青森県漁協経営安定対策協会 通常総会	青 森 市

7月	事 項	場 所
15日(金)	(一社)日本定置漁業協会 通常総会	東 京 都
15日(金)	ほたて供養祭	平 内 町
15日(金)	むつ湾漁業振興会 通常総会	青 森 市
21日(木)	青森県さけます増殖流通振興協会 通常総会	青 森 市
30日(土)	海難防止技術競技会 日本海・陸奥湾大会	青 森 市

NS-ウクンダA80

型式承認番号:4576

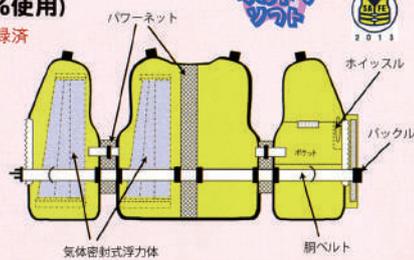
(気体密封式浮力体100%使用)

*実用新案登録済

胴衣の分類:TYPE A



フロントフラップ



サイズ	着丈	胸回り	脇調整	浮力	重量
M	約600mm	約1050mm	約140mm	約8.3kg	約630g
7/8	約610mm	約1080mm	約140mm	約8.3kg	約635g
L	約610mm	約1140mm	約140mm	約8.3kg	約660g
L L	約610mm	約1195mm	約140mm	約8.3kg	約665g
X L	約610mm	約1260mm	約140mm	約8.3kg	約670g

漁労作業に従事する多くの方のご要望にお応えし、**フロントフラップ(前立て)**を標準装備。
ファスナーの引き手が網などに引っかかるのを防止します。

NS-ウクンダA80/A90型の特

- ・当社が独自に開発した気体密封式浮力体を使用
- ・両脇・胴締めベルトサイズ調整機能等の突起物をすべて胴衣の内側に収納
- ・高伸縮なパワーネットを背中・脇部に使用することにより体にジャストフィット

NS-ウクンダA90

型式承認番号:4577

HYBRID

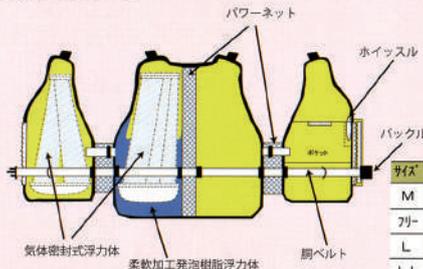
(気体密封式浮力体 + 発泡樹脂浮力体)

*実用新案登録済

胴衣の分類:TYPE A



フロントフラップ



サイズ	着丈	胸回り	脇調整	浮力	重量
M	約600mm	約1070mm	約140mm	約8.3kg	約655g
7/8	約610mm	約1130mm	約140mm	約8.5kg	約660g
L	約620mm	約1200mm	約140mm	約8.5kg	約670g
L L	約620mm	約1240mm	約140mm	約8.6kg	約680g
X L	約630mm	約1280mm	約140mm	約8.7kg	約690g

気体密封式浮力体の特徴

*実用新案登録済



外圧を受けると圧が掛かっていない部分へ気体が自由に移動しますので、発泡浮力体のようにかさばる事はありません。
また、当社使用のフィルムは、 -47°C の耐寒性を有するトップクラスのグレードです。

気体密封式浮力体は、今までになかった全く新しい浮力材のため有効期限は製造より3年間となりますが、適宜性能を確認し、有効期限を再度判断することになっています。



防爆栓を採用

- 希硫酸漏れ防止
- 水素ガス発生による引火爆発を防止



船舶専用付属端子

- 海水等により腐食した端子の交換用として無償提供いたしますので、保守費用の軽減が図れます。



JIS規格5時間率性能比較例

100Ah	96Ah(5時間率)	96Ah(5時間率)	104Ah(5時間率)
	115F51 新船用バッテリー	130F51 通常品バッテリー	130F51 JFバッテリー

環境保全の推進



使用済みバッテリーは所定の使用済みバッテリー回収かごまでお持ち下さい。



JFバッテリーシリーズ要項表

形式	電圧 (V)	5時間率容量 (Ah)	外形寸法(約mm)				液入質量 (約kg)	取っ手	端子の種類	端子位置
			総高	箱高	幅	長さ				
130F51	12	104	255	210	180	502	32.9	有り	テーパー端子	
155G51	12	120	255	210	220	505	39.0	有り	テーパー端子	
210H52	12	160	266	216	276	518	58.0	有り	テーパー端子	

平成28年8月25日

〈発行〉青森県漁業協同組合連合会 青森市安方一丁目1番地32号 TEL017-722-4211(代)
〈印刷〉ワタナベサービス株式会社